

| 原因の考察 | |
|------------------|-----------------------|
| 原因 | (対策) |
| 利便性を高めても無駄 | 車並みに便利なバス導入(過疎地=需要高い) |
| ◎利便性が悪い | |
| 乗継が悪い | 共通利用できるカード導入 |
| 利用料金(運賃)が高い | 公共交通環境を整える |
| | 乗継アプリの開発 |
| ◎車の方が便利(時間が合わない) | |
| バス停、駅から目的地が遠い | |
| 学校の専用バスが運行されている | 利用促進を図る運動 |
| 飲んで帰れない | |
| 利用する魅力・メリットがない | |
| 公共交通に興味が無い | 教育・啓発 →子どもタダ |
| 路線・乗り方を知らない | 駐車場料金をとる(運賃=駐車場料金) |

主要問題

公共交通の利用者が少ないこと

利用者を絞る方が良い

⇔

交通弱者の利便性を高める

⇔

イベント利用

| 影響の考察 | |
|------------|-----------|
| 赤字になる | さらに進む |
| 廃止にされる | |
| 交通弱者が困る | 外出できなくなる |
| 駐車場が不足する | |
| 旅行しづらくなる | 名古屋へ行けない |
| 旅行者が来づらくなる | 市外から人が来ない |
| 不便な市になる | 転入者が減る |
| 企業が少なくなる | |
| 過疎化・田舎になる | |
| 通勤者も重要 | |

家族の負担が増える